

モラル向上の第一歩に

銚子川流域で看板清掃



設置されている
銚子川流域に
案内板を清掃
する参加者

紀北町の銚子川流域で二十七日午前九時から、「サインクリーンアップ」と題した標識や看板の清

掃活動が行われた。

NPO法人ふるさと

企画舎（田上至理事

長）では、「銚子川を

日本一の川に」を合言

葉に、ネイチャーフォ

トグラフアー・内山り

ゆう氏を招いて銚子川

シンポジウムで魅力を

再認識したり、近自然

河川工法の第一人者・

福留脩文氏から病んだ

川をよみがえらせる方

法を学ぶなど流域の環

境保全活動を展開して

いるが、今回は流域の

景観や安全性の向上と

ともに、モラル面の向

上を目指す第一歩とし

て開催。小学生から六十代まで十七人が参加した。

開会のあいさつで田

上理事長は「川をよく

するにはモラルが重

要。薄汚い看板ではモ

ラルも低下してしまう

と思うので、少しでも

きれいにして利用する

人のモラルを上げた

い。そして、銚子川に

ふさわしい新しい看板

に取り替える第一歩に

したい」とあいさつし

た。

清掃範囲は、国道42

号銚子川橋から魚飛つ

り橋付近までおよそ六

キロ。この区間には町が設置したごみ捨て禁止の看板や林道利用の注意事項を記載した看板をはじめ、県が設置した案内標識や東紀州地域観光案内図、水源かん養保安林説明看板、商工会が設置した魚飛

溪の形状石位置図、国

と県、町が設置した魚

飛生活環境保全林イラ

スト看板など主なもの

だけで二十基あり、参

加した人たちは四班に

分かれておよそ一時間

の作業を展開。スポン

ジを使った水洗いで看

板の表面に付いた泥や

コケを洗い流したり、デッキブラシで支柱を磨いたり、看板を隠すように伸びる草や枝を刈り取って、看板とそ

の周辺を見違えるようにきれいにした。

このあと、白玉せんざいをいただきながら懇談の時間をもち、清掃活動の感想やモラルを上げる方策、看板の取替えなどについて意見を交換した。